

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
看護教育論	1	後期	2	講義 30時間
担当教員	大野知代、休波茂子、有家香、安田友恵			
授業概要	看護実践の場で教育を担う看護職者が、その教育的機能と役割を果たすために必要な知識や技術を学ぶ。看護教育制度の課題、人材育成における課題、現任教育における課題と展望について探求する。			
到達目標	1. わが国の看護教育制度の課題について説明できる。 2. 人材育成における課題について説明できる。 3. 看護職者の特性と学習ニーズに応じた現任教育について考案できる。 4. 現任教育における課題と展望について提案し討議できる。			
履修条件	特になし			
授業計画	回	内容	担当教員	
	1	看護学教育のなかの看護継続教育の位置づけ	大野・休波	
	2	わが国の看護教育制度と諸外国の看護教育制度(1)	大野	
	3	わが国の看護教育制度と諸外国の看護教育制度(2)	大野	
	4	事例検討(1)：わが国の看護教育制度の課題	大野・休波	
	5	看護教育と看護継続教育	休波	
	6	看護継続教育に活用できる学習理論	休波	
	7	新卒看護師の教育の現状と課題	有家	
	8	中堅看護師の教育現状と課題	有家	
	9	中・高年看護師の教育の現状と課題	休波	
	10	事例検討(2)：人材育成における課題：看護継続教育の課題	休波・有家	
	11	現任教育における教育の展開(1) 講義(計画・実施・評価のプロセス)	安田	
	12	現任教育における教育の展開(2) 演習 所属する施設内教育(OJT と Off-JT)の問題と解決策を検討	有家・休波	
	13	現任教育における教育の展開(3) 演習 所属する施設内教育(OJT と Off-JT)に対応した研修案を作成	有家・休波	
	14	現任教育における教育の展開(4) 発表・討議	有家・休波	
15	事例検討(3)：現任教育における課題と展望	休波・有家・大野		
教科書	なし			
参考書	舟島なをみ監修(2011). 院内教育プログラムの立案・実施・評価、医学書院 P.ベナー他(2010)／草野 ZITO 真佐子訳(2011). ベナー ナースを育てる、医学書院			
評価方法・基準	プレゼンテーション(30%)、討議への参加度(20%)、課題レポート(50%)から総合的に評価する。			
事前・事後学習	事前学習：課題に関連する文献を熟読し理解を深めておくこと 看護基礎教育と継続教育における自己の課題を明確にして臨むこと 事後学習：講義やディスカッションで得た学びを振り返っておくこと			
備考	特になし			